

和歌

古怪源松栢

瑩玉集
鼓川上

七

| | | | |
|-----|--------|------|-----|
| 和書門 | | | |
| 類 | 二五八七四號 | 一〇七函 | 一〇冊 |

| | |
|------|--------|
| 庫文閣内 | |
| 和書 | 二五八七四號 |
| 一〇冊 | 一〇七函 |
| 二〇架 | 二〇冊 |

| | |
|------|----------|
| 内閣文庫 | |
| 番號 | 和 25874 |
| 冊數 | 10 (7) |
| 函號 | 202 59 |



ろろひろり乃芝蓬ありみち哉ちまふこと林
仙乃さくむといひはるる一葉もろあれを師
てり後くのあまをよめるついでよこすあ
らるる人をとりひ後くを義をあつせり
よふつらあつさをあまら自然と一樹さうこ
して風をたらしたりひきりねりく乃こを
勅く一巻とを風神をいふよよりそ名けて
堂也集と云はる乃奥書る教りよ先師乃い
先師よあまをいふもやとく人よはるる
いり

姿詞意 故實 痛 諸難 姿詞意

歌いかなるをすくはるれととる一宮系大納
言乃新撰髓腦といふなりこくつん姿ともふら
こつてこるまのこ後をよる人ともありん
産のをしるさあつてあつてあつてあつて
なれもこ後をよるまのこをよるまのこ
あつてあつてあつてあつてあつてあつて
あつてあつてあつてあつてあつてあつて
あつてあつてあつてあつてあつてあつて
あつてあつてあつてあつてあつてあつて

うらまはしよはなをけうらむひさくさむらひんらふ
地をふさしくくまめあまうさむしひなれどくし
のほろこしはあえさるるしんれ歌の終れを
あまをうらむら

あまをうらむらとらひりしはうあま
いく回りもりり秋をまめあま
むらあめのの終れまじひぬ終れをよ
あまをうらむらあまの夕ぐれ
は秋をうらむらりりあまをうらむら景
氣あまをうらむらたむるの終れ夕言のあま

あまをうらむらとらひりしはうあま
あまをうらむらとらひりしはうあま
あまをうらむらとらひりしはうあま
あまをうらむらとらひりしはうあま

あまをうらむらとらひりしはうあま
あまをうらむらとらひりしはうあま
あまをうらむらとらひりしはうあま
あまをうらむらとらひりしはうあま
あまをうらむらとらひりしはうあま
あまをうらむらとらひりしはうあま
あまをうらむらとらひりしはうあま
あまをうらむらとらひりしはうあま

Handwritten Japanese text in cursive style (sōsho), consisting of approximately 12 vertical lines of characters.

Handwritten Japanese text in cursive style (sōsho), consisting of approximately 12 vertical lines of characters.

室八集

あまのついでにのほかに随ふこと禁はくまに
あまのついでにのほかに随ふこと禁はくまに
あまのついでにのほかに随ふこと禁はくまに
あまのついでにのほかに随ふこと禁はくまに

か

鴨長明作室玉集半作云

Faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side.

鞆河上

三十一字乃款きりなりと鞆河よなりてなれ
那波津よきふそな未きえとくもつうこの
ひさくたりよくろ我國のこころさよまんを
あつあれと右の人をえをよつて代家とくま
今乃人の文をわらわをわくもわけてけ道乃
はさりわくよひ似るまよとさうのさほ乃かたれ
亭只楚夏の音よとれをまよとふあつち
しりもあつてまりあつてさうれ風俗の人よう
はつことばやまらふさよありあつていん人